

＜薬剤耐性菌について＞

今回は、最近話題になっている薬剤耐性菌についてご紹介します。

抗菌薬を使い続けていると、細菌の薬に対する抵抗力が高くなり、薬が効かなくなることがあります。このように薬への耐性を持った細菌のことを薬剤耐性菌といいます。耐性菌が増えると、抗菌薬が効かなくなることから、これまでは適切に治療すれば軽症で回復できた感染症などの治療が難しくなって重症化しやすくなり、さらには死に至る可能性が高まります。そのため、薬剤耐性（AMR）の拡大防止は私たちにとって非常に重要なことです。

では、薬剤耐性（AMR）の拡大を防ぐにはどうしたらよいのか？

- ・ 耐性菌には有効な抗菌薬がないことがあるため、まず感染しないことが重要です。そのため感染症にかかり抗菌薬を必要とする機会を少なくすること
- ・ 抗菌薬を適切に使用することが重要です！！例えば・・・

5日間飲むべき抗菌薬をよくなったからといって、1日でやめてしまったなど、医師や薬剤師の指示から外れた使い方をすると、十分な効果が期待できないことや新たな耐性菌が出現するリスクが高まります。抗菌薬を服用する際は医師や薬剤師の指示を守り、必要な場合に適切な量を適切な期間、服用しましょう。

もしも感染したとき、周りに広げないように日頃から手洗いうがいの徹底やアルコール消毒、マスクの着用などが大切になります。